

## 吉村 忍 議員



**接種者特典への補助の考えは？**

**問** 町内のある飲食店では、予防接種済証を提示すると、ワンドリンクサービスや接種者特典を実施しています。

このような接種者特典を行う商工業者へ、接種促進のための事業として補助を行う考えはないか伺います。

**答** 議論を通して得られた考え方で

回復に向けた取り組みを可能とするためには、若年層を中心としたワクチン接種率の向上等、更なる感染拡大防止対策が重要であると考えています。

その上で、国民的な議論を通して得られた制限緩和の考え方を基に、町民の安心な暮らしと社会経済活動の両立を考えた対策に取り組んでまいりたい。

**柳井・岩国への転出抑制対策を**

**問** 本町からの転出先は、過去5年連続して柳井市が第1位となっており、岩国市を加えると年平均136人が通勤・通学圏内である柳井市・岩国市へ転出しています。

この近隣市への転出抑制対策について、執行部の見解を伺います。

**答** やれることはすべてやる！

若者の町内への定着やUターンを促進し、本町への『人の流れ』を造り出していく必要があります。

このためには、交流人口や関係人口を増やすとともに、町の産業力を高めることにより、若者の雇用の場を創出していくことが重要な施策であり、今後も、「やれることはすべてやる」という意識で取り組みます。

| 過去5年間の転出者数 |      |     |
|------------|------|-----|
|            | 柳井市  | 岩国市 |
| 2016年      | 67人  | 55人 |
| 2017年      | 81人  | 67人 |
| 2018年      | 83人  | 56人 |
| 2019年      | 100人 | 61人 |
| 2020年      | 70人  | 41人 |

柳井市・岩国市への転出は、町の施策や魅力ある学校づくり、職員の町内居住等により抑制しなければならない。

## 白鳥法子 議員



**ポイ捨て、海洋プラスチック問題**

**問** プラスチック資源循環促進法が令和4年4月に施行予定です。海洋ごみ問題や脱プラスチックに取り組むことは、町民にとっても町のイメージ戦略としても重要で、今が絶好のタイミングです。

ポイ捨てや海洋ごみへの対策、脱プラスチックに向けた取り組みを伺います。

**答** ポイ捨てはポスター掲示！

観光協会と連携して、ごみ持ち帰りのポスターを作成し、コンビニエンスストア、釣具店や公衆トイレに掲示し注意喚起しています。

**海ゴミは勉強会を検討**

**答** 町民の意識づけのため、勉強会等を検討したい。

**脱プラは代替品使用を働きかけ**

**答** 町内事業者に対してプラスチックに代わる素材へ転換を働きかける等、プラスチック消費量を減らしたい。

**社会情勢に合わせ計画見直しを！**

**問** ゴミに関する基本方針「一般廃棄物処理基本計画」が、前回の見直しから5年が経過しています。社会情勢を反映した内容に改定すべきでは？

**見直しをする際は盛り込みたい**

**答** 5年前と実情が変わっており、今後見直しを行う際には、食品ロス削減、海洋ゴミ、新型コロナウイルス感染拡大によるゴミ処理への取り組み等の内容を盛り込むことを検討したい。

**要望** 見直しにあたっては、町民や事業者としっかり協議をして練り直していただきたい。



お問い合わせは、生活衛生課へ  
0820-79-1010